

“繋がり” “広がる” いしのまき ～川湊～ の再生

「リバーサイド MOTOMACHI をはじめとする旧北上川におけるかわまちづくり」

宮城県石巻市／平成 28 年竣工

河川堤防事業と連携した、市街地再開発事業や土地区画整理事業といった面整備事業の組み合わせにより、東日本大震災からの復興と賑わいの拠点づくりを目指す取組です。震災前は“川湊・石巻”の中心地として川と隣接し無堤でしたが、津波被害により新たに整備された河川堤防を、「かわ」と「まち」に隔たりを感じさせるものではなく、「かわ」と「まち」が繋がる一体的な空間として整備（『かわまちづくり』）を行いました。

再開発事業により整備された、リバーサイド MOTOMACHI は、2階部分が堤防天端と連続的に接続し、川沿いのプロムナードとの一体化による「堤防一体空間」が形成されています。（※同様に、隣接する区画整理事業地内に建設された「いしのまき元気いちば」も2階のレストランが堤防と接続）また、津波被害をふまえて、低層階を非住居、3階以上を住居として、高度利用による都市機能整備や防災減災施設の充実を図りました。

計画段階からの産学官の連携が、ソフト面での「まちづくり」に広がりを見せており、まちづくりに携わるプレイヤーたちが“かわまち”をフィールドとして活動することにより、「まちなか」に賑わいを創出しています。

事業概要

所在地	宮城県石巻市中央一丁目 など
土地面積	約 4,080 m ²
事業主体	中央一丁目 14・15 番地区市街地再開発組合・石巻市
管理運営主体	リバーサイド MOTOMACHI 管理組合・旧北上川利活用協議会
主要施設	分譲住宅（25戸）・復興公営住宅（54戸）・通所介護（デイサービス）（2F）・離島航路発着所（2F）・集会室（2F）・一時避難所（7F）
事業スキーム	第一種市街地再開発事業、補助金（復興交付金）、保留床処分金 など

取組のポイント

- 堤防整備と再開発事業、区画整理事業の組み合わせにより、適切な高度利用と土地の合理的活用を図り、被災者の早期再建や街なか居住を促進
- 街なかにおけるオープンスペース（堤防一体空間）の創出により、歩いて暮らせる街なかの実現に寄与しつつ、居心地よく滞在できる交流人口等の増加に貢献
- 「いしのまき元気いちば」と堤防一体空間の接続による協働や、エリアマネジメント組織による社会実験（かわまちオープンパーク）等、多様な主体による取組が連携

